【社会科のグランドデザイン】

何ができるようになるか 〇各教科等で育成する資質・能力	何が身に付いたか 〇各教科等の学習評価
・社会的事象に関する調査や資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能 ・社会的事象を広い視野(多面的・多角的な視野＆国際社会を生きる社会人としての視野)に立って、課題を追究したり、説明したり、それを基に議論したりする力 ・社会の形成者の一員として、よりよい社会の実現に向けての課題を主体的に解決しようとする態度	・社会的事象（日本の歴史と日本の諸地域の特色、大観的な世界史の流れと世界の諸地域の特色、現代社会の政治・経済の仕組みとそれにともなう課題）に関する知識を身に付けようとしている。 ・社会的事象に関する知識を活用することができる。 ・知識、資料を活用し課題を追究してまとめようとしている。

子供たちの実態	子供たちの発達をどのように支援するか 〇配慮を必要とする子供への指導	目指す子供たちの姿
・知的好奇心旺盛な生徒や学習に対する意欲が感じられる生徒が多い。真面目に活動に取り組む生徒が大半である一方、課題に対して受け身な姿勢が目立つ生徒もいるので、思考力・判断力・表現力の向上を目指した取り組みが求められる。	・単元ごとに小テストを行うなど基礎基本の定着を図る。 ・授業内での見通しをもたせる。 ・スモールステップでの授業を行う中で、単元の一貫した流れを授業の中で意識させる。	・自己や他者との考えを共有して広い視野のもと、社会の情勢を踏まえ自己の考えを論理的に表現し、さらに社会問題の解決に率先して取り組む姿勢を身に付けようとする生徒

何を学ぶか 〇各教科等の教育課程の編成	どのように学ぶか 〇各教科等の授業の実施
・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解し、様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ・社会的事象の特色を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて必要な思考力・判断力・表現力を身に付ける。	・他者との話し合い活動の時間を多く確保し、その方法を工夫する。 ・単元内容を振り返り基礎基本の定着を図ることのできる課題を用意する。 ・ICT 教材などによる視覚的アプローチ積極的に活用し、より理解を深めたり、自身の考えを表現する機会を多く設けたりする。

実施するために何が必要か　〇指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働	
・教材・教具、授業形態の工夫を通じて、常に教師が指導力の向上を図り続ける。 ・ICT 機器、教材・教具の充実	・単元ごとの振り返りによる基礎基本の定着

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」
課題を追究したり、解決したりする活動を通して、主体的に生きる社会の形成者として必要な知識を多角的・多面的に思考・判断・表現できること。